

企業概要

■社名：株式会社メカ工業（宮城県）

<http://meika.co.jp/>

■従業員数：18人 ■資本金：10百万円

■売上高：1億6千万円

■事業内容：極細スズメッキ銅線製造・販売

■知的財産：特許1件



極細スズめっき銅合金

相談のきっかけ

スズめっき極細銅線の開発の促進

スズめっき極細銅・合金銅線（20～80μm）の製品を他社に先駆けて進めてきているが、医療機器用ケーブルやロボット等の分野において、高強度と高導電率を満たす技術を開発し、知財権を強化すると共に、高収益性の製品開発を促進することが課題となっていた。

開発課題へのアプローチ

左記課題に関して、知財権の強化を図りつつ、短中期的に、次世代技術開発を大手企業と協業しながら進め、長期的に公設試との共同研究を行いたと考えていた。課題を克服するため、当社にとって、知財権の強化及び営業秘密を管理する体制の構築が必要となっていた。

課題と支援の内容

注) 知財戦略AD(アドバイザー)は、INPITの専門人材です。

課題	支援のポイントと活用した専門家
知財権の強化	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器用ケーブル等に使用する極細銅線等に関する発明に関する出願の適否と権利の取得に関して助言する。 <p>弁理士</p>
共同開発における契約	<ul style="list-style-type: none"> 高導電性線材を提供する大手企業と加工者（相談者）との協業に関する秘密保持契約及びその交渉に関して助言する。 <p>中小企業診断士</p>
営業秘密管理体制構築	<ul style="list-style-type: none"> 製造技術（新規技術を含む）のノウハウ管理とその体制の構築に関して助言する。 <p>知財戦略AD^注</p>
次世代技術開発	<ul style="list-style-type: none"> 公設試との共同研究の促進及び想定される研究成果に基づく知財権取得の可能性に関して助言する。 <p>弁理士 中小企業診断士</p>

リーダー：中澤俊彦（中小企業診断士）

支援担当者：片平忠夫（宮城県知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
知財権による強化	<ul style="list-style-type: none"> 極細銅線を使用する新たな導電材料に関する有力な発明を把握し、適切な権利範囲で特許出願する目途がついた。
共同開発における契約	<ul style="list-style-type: none"> 大手企業との秘密保持契約において相談者の権利が確保され、両者の協業体制が明確となる内容にて締結に至ることができた。
営業秘密管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 製造技術（新規技術を含む）のノウハウ管理の重要性を認識して、管理体制構築の方針が決まった。
次世代技術開発	<ul style="list-style-type: none"> 公設試との共同研究や評価委託等を進める環境が整備され、自社単独では実施困難な開発・評価を進める基盤ができた。

社長の支援成果についてのコメント

重点支援を受けることで、自社のアイデアを知財権として保護することに積極的に取り組めるようになったと感じている。特許出願として権利取得する技術と営業秘密として秘匿するノウハウを区別する重要性をよく理解できた。今後、営業秘密管理体制の構築を進めて行きたい。また大手企業との契約の重要性を改めて認識させられ、引き続き窓口の支援をお願いしたい。